

黒潮町地震・津波ハザードマップ

NO.7 地区名：熊野浦・上分・坂折・馬地・下分・町分・大和田・浜町・明神・会所・横浜・白浜・かしま荘

我が家の防災メモ

家族で話し合ってからかじめ記入し、家族みんながわかるところに置いておきましょう。

■家族の連絡先

家族の名前	連絡先(勤務先・学校)	電話番号	携帯電話	血液型
				型
				型
				型
				型

■緊急連絡先リスト

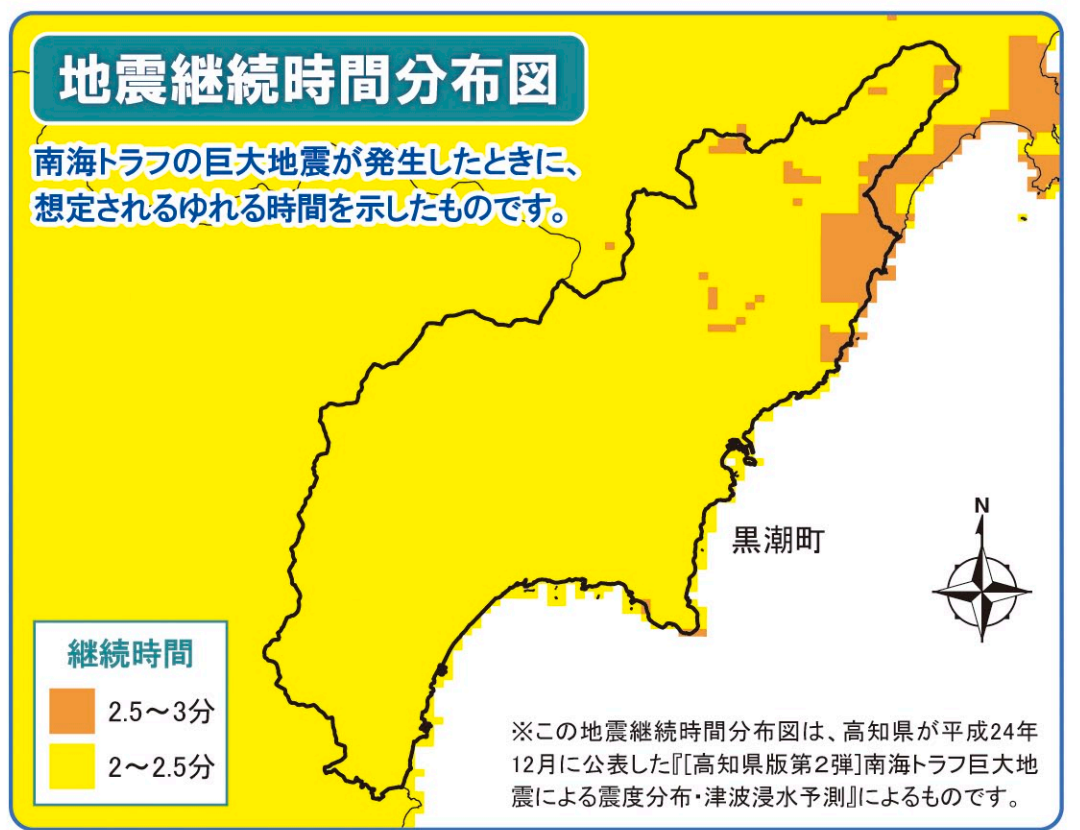
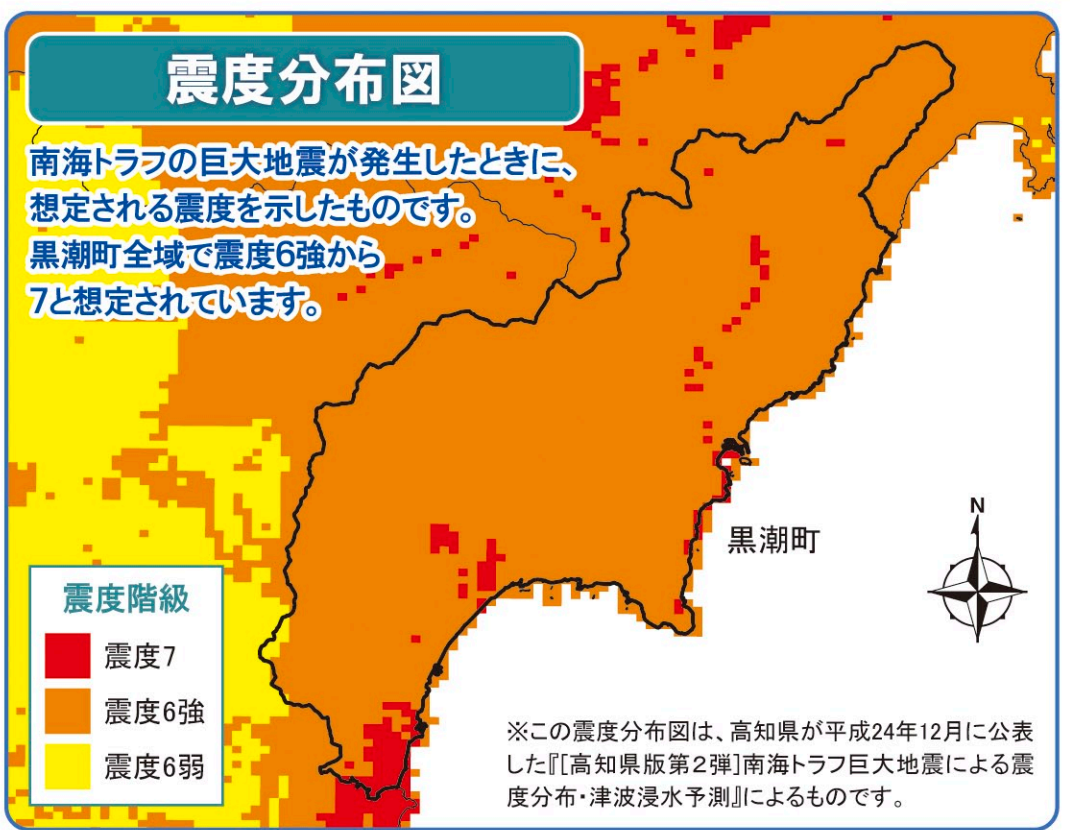
機関名	電話番号	機関名	電話番号
黒潮町役場本庁	43-2111	中村警察署	34-0110
黒潮町役場佐賀支所	55-3111	四国電力 中村支店	34-2161
黒潮消防署	44-2600	NTT	113-0120-444-113(携帯)

災害用伝言ダイヤル

大規模な災害が発生して電話がつながりにくいときは、安否の確認や連絡用に利用できる「災害伝言ダイヤル171」を活用しましょう。

伝言を録音する時は① → (○○○) (○○○) (○○○) → 伝言を吹き込む

伝言を再生する時は② → (○○○) (○○○) (○○○) → 伝言を聞く



あきらめない！
揺れたら逃げる！
より早く！
より安全な
ところへ！



私たちの暮らす町は、南海地震と津波によりこれまでに大きな被害を受けてきた地域です

私たちの暮らす町は、地震と津波によりこれまでに過去大きな被害を受けてきた地域です。

1854年の安政南海地震があり、その地震を記録した石碑が加茂神社、伊田海岸(金比羅神社の入り口)にあります。

伊田海岸の碑文の最後は「今後、百四十年、百五十年の後まで用心せよ。後世のために、之を記すと締めくくられています。この碑の作者は南海地震は、100年～150年周期で起こることを知っており、将来の子孫に向けたメッセージを残したのだと考えられます。私たちは、先人が残した思いをしっかりと受け止め、次の南海地震に備えなければなりません。



土砂災害危険箇所の種類と内容

土石流危険渓流・区域 (黒潮町内196箇所 H22.3現在)
谷や斜面に貯まった土・砂・石等が、梅雨や台風などの集中豪雨による水と一緒に、一気に流れ出してくるのが土石流です。

急傾斜地崩壊危険箇所 (黒潮町内341箇所 H22.3現在)
地面にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのが、がけ崩れです(急傾斜地崩壊ともいいます)。

地すべり危険箇所 (黒潮町内該当箇所なし H22.3現在)
比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層など滑りやすい面が地下水の影響などでゆっくりと動き出す現象を地すべりといいます。

地震が発生したら

1 地震の揺れから身を守る

- 落ち着いて、自分の身を守る
- 火の始末、ガスの元栓を閉める
- ドアや窓を開けて逃げ道を確保する

2 津波警報を待たずに、すぐに避難する

- 揺れがおさまったら、津波や土砂災害のおそれがある区域に居る人は、ただちに避難する
- より高い場所へ避難する
- できる範囲で地域の要援護者の手助けをする

3 津波情報を入手する

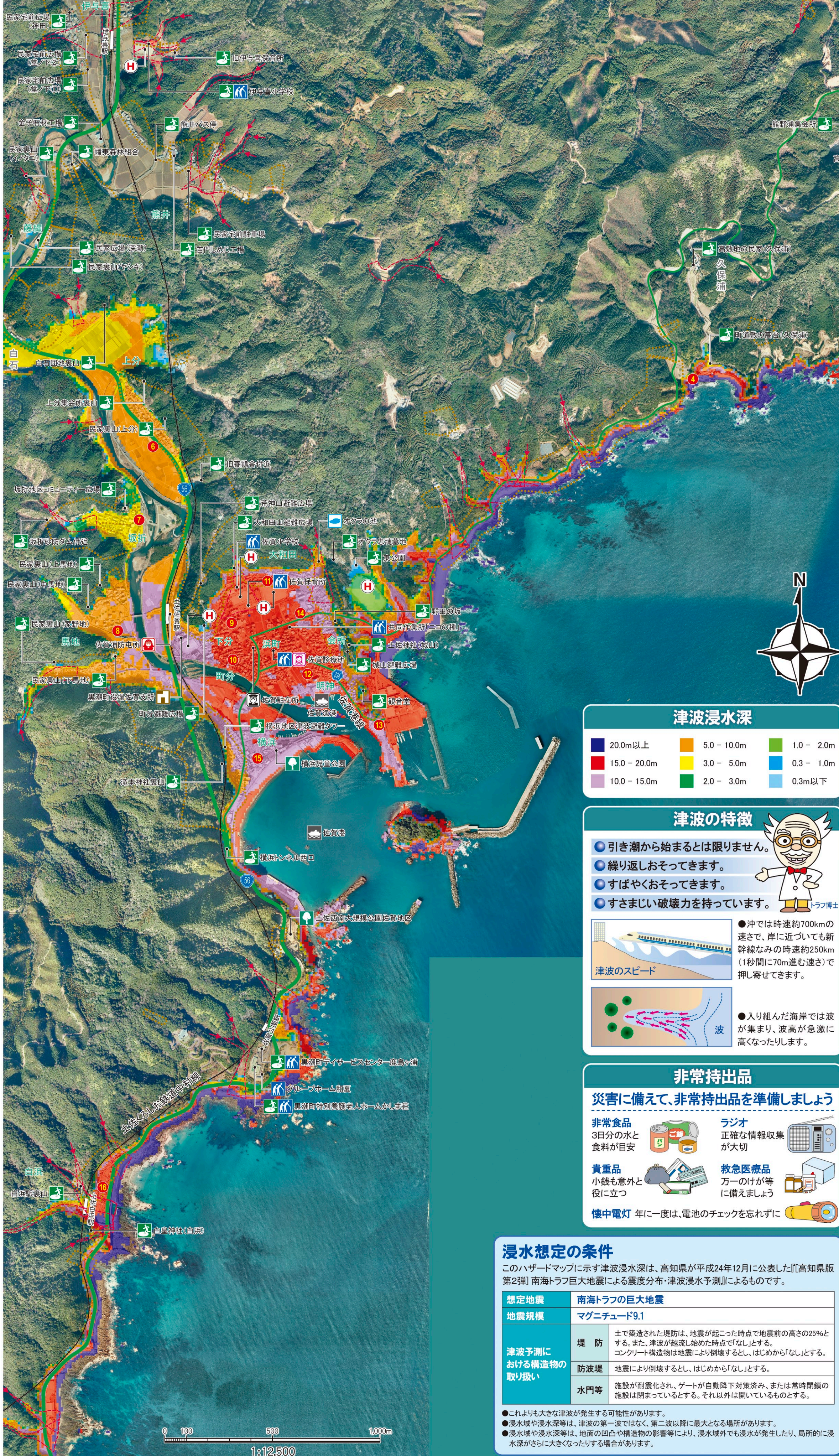
- 安全な場所に移動してから、ラジオなどで情報を確認する
- うわさ、デマなどに惑わされないように注意する
- 安全が確認されるまで、自宅・沿岸部には戻らない

4 避難施設等へ移動する

- 津波警報が解除されたら、一時避難した場所から、避難施設などに移動し、家族と合流する
- 避難生活では、集団生活のルールを守り、助け合いの心を持つ

地区拡大地図

NO.7 地区名：熊野浦・上分・坂折・馬地・下分・町分・大和田・浜町・明神・会所・横浜・白浜・かしま荘



- ### 凡例(地区拡大地図)
- 土石流危険渓流・区域
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 避難場所
 - 災害時要援護者施設
 - 役場・支所
 - 駐在所
 - 消防署・消防屯所
 - 医療施設
 - 災害用ヘリポート
 - 安政津波の碑
 - 港湾・漁港
 - 公園
 - ため池
 - 主要道路
 - 津波30cm到達時間リストの位置

津波に関するサイン(目印)

津波浸水深
その場所の地盤の高さを表示しています。

津波危険区域
その場所の地盤の高さを表示しています。

津波避難場所
国(消防庁)統一のマークです。
① 避難高台
② 避難ビル(避難可能な建物)

津波30cm到達時間リスト

No.	名称	約 時間
1	旧熊野浦集会所	約 17 分
2	久保浦町道	約 32 分
3	上分 中角バス停	約 27 分
4	坂折 コミュニティー広場前町道	約 35 分
5	馬地集会所前町道	約 22 分
6	JA高知はた佐賀出張所	約 20 分
7	佐賀郵便局	約 19 分
8	佐賀保育所	約 20 分
9	佐賀漁協 漁民研修センター	約 16 分
10	黒潮一番館	約 16 分
11	高知銀行佐賀支店	約 19 分
12	佐賀町民館	約 17 分
13	白浜集会所	約 20 分

避難場所リスト

避難場所名	一次	二次	標高(m)
熊野浦集会所	○	○	60.7
高敷地の民家(西谷)	○	○	21.8
高敷地の民家(久保浦)	○	○	53.9
町道敷の高台(久保浦)	○	○	28.4
上分集会所裏山	○	○	47.1
民家裏山(上分)	○	○	42.5
旧養鶏舎付近	○	○	21.4
白石団地裏山	○	○	30.4
坂折地区コミュニティ広場	○	○	24.7
坂折砂防ダム付近	○	○	26.7
民家裏山(上馬地)	○	○	25.9
民家裏山(中馬地)	○	○	26.9
民家裏山(下馬地)	○	○	21.6
民家裏山(家野地)	○	○	15.0
東公園	○	○	25.9
大和田山避難広場	○	○	24.0
オクラ忠魂墓	○	○	28.2
野田の坂	○	○	27.0
観音堂	○	○	21.2
土佐神社(城山)	○	○	36.8
荒神山避難広場	○	○	68.5
町分避難広場	○	○	24.0
城山避難広場	○	○	30.0
横浜トンネル西口	○	○	17.2
横浜地区津波避難タワー	○	○	21.9
滝本神社裏山	○	○	29.3
白浜駅裏山	○	○	39.4
白皇神社(白浜)	○	○	34.2
黒潮町デパートビルセンター鹿島ヶ浦	○	○	43.7
黒潮町特別養護老人ホームかしま荘	○	○	42.1

浸水想定条件

このハザードマップに示す津波浸水深は、高知県が平成24年12月に公表した「高知県版第2弾」南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測によるものです。

想定地震	南海トラフの巨大地震
地震規模	マグニチュード9.1
津波予測における建造物の取り扱い	堤防 土で築造された堤防は、地震が起こった時点で地震前高さの25%とする。また、津波が継続し地盤の陥没がなすと。コンクリート構造物は地震により倒壊するとし、はじめて「なし」とする。
防波堤	地震により倒壊するとし、はじめて「なし」とする。
水門等	施設が耐震化され、ゲートが自動降下対策済み、または常時閉鎖の施設は閉まっているとする。それ以外は開いているものとする。

●これより大きな津波が発生する可能性があります。
●浸水域や浸水深等は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合があります。
●浸水域や浸水深等は、地盤の凹凸や建造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。